

【件名】	善福寺川整備工事（その205）	【事務所名】	第三建設事務所	
【工事場所】	東京都杉並区成田西四丁目地内から同区荻窪一丁目地内まで	【受注者名】	大豊・黒部建設共同企業体	
【工期】	令和3年8月23日から令和7年2月12日まで	【主たる技術者名】	大矢 敏雄	

【工事概要】

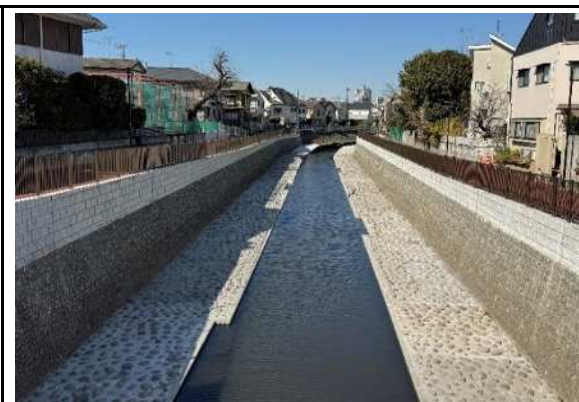
本工事は、荒川水系の一級河川善福寺川の神通橋上下流区間において、護岸整備、神通橋の下部工・上部工及び取付道路を構築する工事である。

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事箇所の河川沿いは閑静な住宅街となっており、地元から騒音振動の低減を強く求められていた。そのため、受注者は防音シート等の対策に加え、重機（バックホウ及びキャリアダンプ）の小型化を提案して施工し、さらに騒音値65dB、振動値55dBの独自基準を設定したうえ、リアルタイムのモニタリングで施工管理し、騒音振動の低減に努め、地元要望へ真摯に対応した。また、短時間で急激に水位上昇する善福寺川において、他の河川現場と比較しても非常に多い80回以上の現場冠水に見舞われ、手戻りが発生する中、工事の遅れを取り戻すために緻密に工程を組み直し、複数の工種を同時並行させることにより、神通橋の早期解放に努めた。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

雨が降ると工事を中断・中止し、重機及び作業員をまず退避した。河川増水後、復旧作業から再開することの繰り返し精神的に苦労しました。また、急なゲリラ豪雨（特に落雷）を予想するのに注意しました。

◇ 特に工夫した点

民家が近接しているので、重機による振動・騒音対策を工夫しました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

神通橋の開通前に地元の方と記念撮影会を行い、喜んでいただき感謝された際の達成感は忘れません。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設業は辛いですが、完了した際の達成感が忘れられません。

